

令和7年度原木シイタケ栽培技術研修（基礎第Ⅰ期）を開催しました

1 はじめに

普及班では、原木シイタケの生産振興を図るため、現地機関等からの要望により、林業普及指導員や新規生産者等を対象とした栽培技術研修を実施しています。

今回は、4月25日に林業技術センターで原木シイタケ栽培の基礎等に関する研修会を開催したので、その内容を紹介します。

2 研修の内容

研修会には、林業普及指導員、市町村の担当者及び新たに原木シイタケ生産を検討している個人など計9名が参加しました。

研修会では室内講義、現地実習及び施設見学について、以下のとおり行いました。

（1）室内講義

- ① シイタケの生理生態と栽培方法
- ② 原木の調達と植菌、仮伏せ
- ③ 本伏せとほだ場の管理
- ④ 収穫と乾燥
- ⑤ 品質と販売
- ⑥ ほだ木に発生する害菌
- ⑦ 乾しいたけ品評会について

（2）現地実習

- ① 植菌と仮伏せ作業
- ② 原木しいたけの収穫体験

（3）センター施設見学

- ① ビニールハウスを活用した冬季仮伏せ
- ② 乾燥機の構造と操作方法
- ③ 研究用のシイタケほだ場の紹介



ビニールハウスを活用した冬季仮伏せの説明



夏季発生品種のしいたけ種駒の植菌作業

令和7年度若手県産しいたけ品評会 審査日：令和7年6月10日（火） 審査会場：岩手県林業技術センター	量目 720g ■ 出品品柄 5区分 天白どんこ、茶花どんこ、どんこ、こうしん、こうこ
 審査会場の様子	1次審査 ・量目不足はないか ・乾燥不足となっていないか ・虫害、カビはないか ・異なる品柄が混入していないか ・異臭はないか ⇒出品物の確保：乾しいたけ1個5g程度 出品するために150個程度

乾しいたけ品評会について

3 参加者からの質問等

参加者からは、原木を機械で集材する際に生じた傷が収穫に及ぼす影響、原木価格、原木シイタケの市況、品評会の留意点に関して質問があり、栽培に関する知識や技術を詳細に学ぶことができたと感じがありました。

普及班では、県内のシイタケ生産者の確保のため、今後も栽培技術研修会の継続的な開催により、新規生産者や林業普及指導員等の資質向上に取り組んでいきます。